

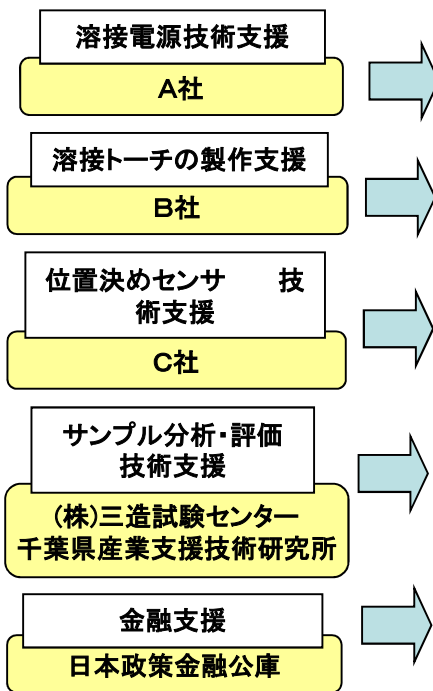
地域	千葉県市原市	認定日	平成23年10月14日	3-23-187
事業分類	製造(金属製品)	テーマ分類	基盤技術	

事業名：新プラズマ溶接によるアルミニウム製タンクの事業化

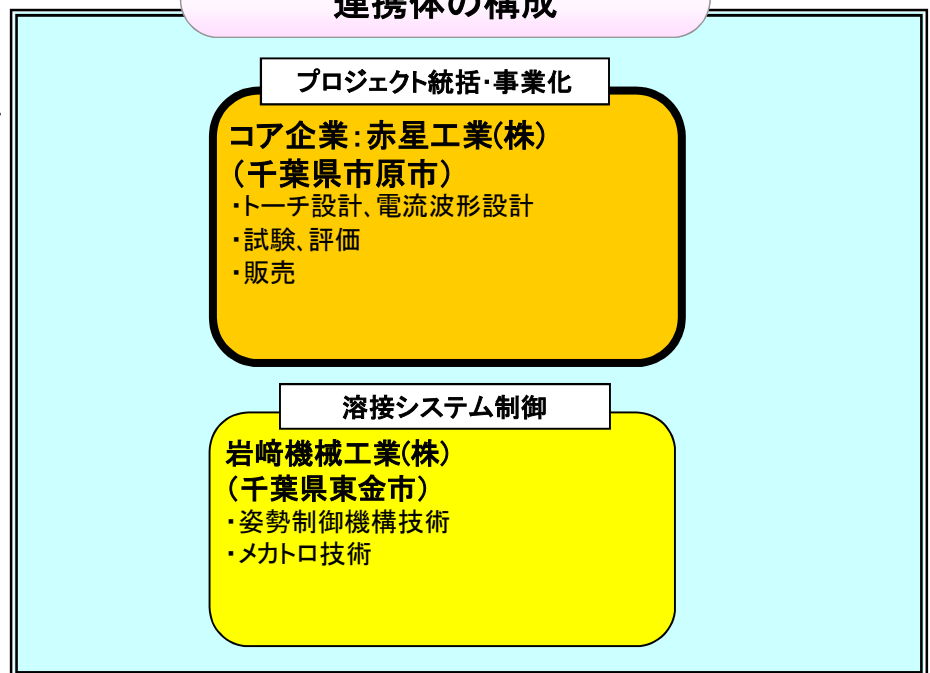
○事業概要(新規性、市場性等)

- ・アルミニウムは重量に比し強度が強く、導電性でありながら非磁性などの特徴があり、船舶などの物流機器、窓などの建築設備、電力設備や化学プラント等に広く使われている。
- ・貯槽、塔、圧力容器等で使用するアルミニウムの中・厚板を溶接する場合、材料同士の開先加工が必要となり、溶接棒を使用して開先部を埋めた溶接を行う為コスト高という難点があった。
- ・コア企業の赤星工業(株)は大阪大学や(株)ダイヘンと産学連携で、中・厚板用の溶接装置で、前処理が不要、開先加工不要、1回の溶接で接合できる新プラズマ溶接(新型溶接電源、トーチ、溶接姿勢制御)を研究開発してきた。
- ・連携企業の岩崎機械工業(株)と連携して溶接姿勢制御ロボットの実用化により、安価でしかも高品質な新プラズマ溶接方法を実現し、事業化の見通しを得た。

事業推進体制

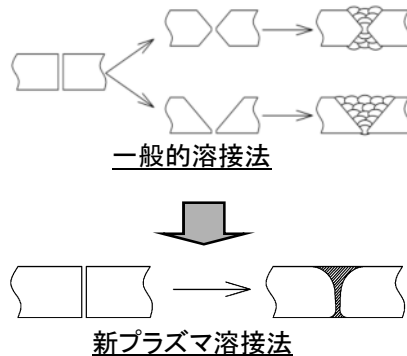


連携体の構成



支援予定メニュー

- ①補助金
- ②信用保証
- ③低利融資



溶接接合



アルミニウム製ガス絶縁開閉装置